

(独)国際協力機構(JICA)が行っている「防災システムインフラ本邦研修」の一環として、ブラジル連邦共和国の研修員が淀川ダム統合管理事務所に来訪されました。淀川水系洪水管理システムについて説明や講義を行いました。

概要

日時：平成26年2月28日(金)

9:30～11:20

場所：淀川ダム統合管理事務所

参加人数：7名(ブラジル連邦共和国)

主催：国際協力機構(JICA)



日本における防災技術の視察を行い、ブラジルでの機器導入や技術の応用などに関する向上を図るため、国際協力機構により防災システムインフラ本邦研修が行われました。

□統合管理システムについて

淀川ダム統合管理事務所による淀川水系の7ダムの統合管理の方法や洪水予測システム、司令室の設備と機能について説明を行いました。

研修員の方からは、洪水予測システムにおける降雨予測の入手方法や関係事務所とダム管理所の関係について質問がなされるなど活発な討議が行われました。



ダム統合管理についての意見交換

□レーダー雨量計システムについて

レーダーの雨量を観測する仕組みやXバンドレーダーとCバンドレーダーの違いや、導入の背景等について説明を行いました。

研修員の方からは、気象庁と国土交通省のレーダ観測の違いやレドームの標高、維持管理費など熱心に説明に聞き入っていました。



XバンドMPレドームの見学



Xバンドレーダーについて説明

研修員の方からは矢継ぎ早に様々な質問が行われ、予定時間を20分も超過しました。今回の研修がブラジルにおける防災技術の一助になればと思います。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
 淀川ダム統合管理事務所防災情報課
 〒573-0166 枚方市山田池北町10番1号
 TEL 072-856-3131

